

「あおば会」で感じたこと

副校長 野中 一宏

新年あけましておめでとうございます。日頃より「ことばの教室」の教育活動にご理解とご協力を 賜りまして、誠にありがとうございます。新年を迎え、気持ち新たに今年の目標を定め、やる気に満 ちている児童が多いことと存じます。

本校は、特別支援教育拠点校として「ことばの教室」と特別支援教室「サポートルーム」があります。約半年前になりますが、サポートルームを卒業して、大人になった方々にお会いする機会がありました。この会は「あおば会」といい当時の学級名「あおば学級」から名付けられたそうです。我々教員は、子どもたちが卒業するとその後の成長やその後の活躍についてなかなか情報を得ることが難しく、あの子は元気でやっているだろうかとか、頑張っているかなとか想像することしかできません。今回サポートルームを卒業した子どもたちが「ホテルマンになりました。」や「製造業で製品を作っています。」等、社会で活躍している姿を目の当たりにすることができ大変うれしく思いました。ことばの教室に通う子どもたちも社会に出て活躍して欲しいと教員も保護者も願っており、子どもたちの将来を長い目で見て社会で活躍してくれると信じ、我々は日々の教育活動に、保護者の皆様は日頃の生活を支え、子どもたちのために同じ方向に向かって日々取り組んでいけたらと思っています。今後ともご協力のほどお願いいたします。



みんなが主役! 交流会のご報告

12月6日(水)にことばの教室プレイルームにて、交流会が行われました。

今年度は、コロナが明けて制限を設けずに出演児童やその保護者、担任の先生などたくさんの方が集まりました。

出演児童は、どのように発表したいのか担当者と何度も相談したり、準備の時間を補うためにお家で準備をしてくれたりと、「やりとげたい。」という気持ちが感じられました。また、今年度は3年生のご家庭にも参観いただき、先輩たちの姿を見ることで、「来年自分は何をしようかな」と動機付けにもなりました。当日は、緊張しながらも一生懸命取り組む姿に一人一人の成長が伝わってくる会となりました。

保護者の方々や在籍学級担任の先生には、通級へのご理解や温かいご声援をいただきましたこと、紙面をお借りして、お礼申し上げます。

一部ですが、皆様からいただいたアンケートをご紹介いたします。

ことばの教室に通い合う子供たちが協力し合ったり、自分の得意なことを緊張しつつも発表したりする場は、とても良い経験になりそうですね。見ているこちらもドキドキしながら見たり、笑わせてもらったり、元気をたくさんもらえました。来年も楽しみにしています!

とても楽しい交流会でした。内容がよく考えられていて、物品やスライドを用意したり、セリフを覚えたり、準備も大変だったと思います。みなさん楽しそうに発表してくれたのでこちらも楽しくなりました。

好きなこと、得意なことを堂々と発表する皆さんの姿がとても印象的でした。通級している子供たちはもちろん保護者と先生方、大人たちも楽しんで参加していて教室全体が明るく温かい空気に包まれていたと感じました。帰り道、来年発表する側になった時のことを考えながら帰りました。来年も楽しみにしております。

子供たちの発表を見て、みんな一生懸命頑張っている姿にとても感動しました。すごく楽しくそしてすごく面白かったです。来年は息子が4年生になり、発表者となるので今回発表してくれた子供たちのように堂々と、自分自身が楽しめるような発表が見られたらと思います。

吃音講演会のお知らせ

今年度、2月7日(水)14時~16時で吃音講演会を行う予定です。今回は、筑波大学人間系助教授の飯村大智先生をお招きします。飯村先生のご著書に「吃音と就職~先輩から学ぶ上手に働くコツ~」があります。ことばの教室の待合室にも置いてありますので、是非ご覧になってみてください。講演会で先生にお尋ねしたいことがありましたら、担当の教員に直接お伝えください。



飯村先生の HP です。 ご参照ください。